

宮川の風 第54号

平成30年7月13日（金）発行
宮川小学校校長室からのたより

「来たときよりも美しく」これは、公民館や青少年施設などの社会教育施設に、よく掲げられている言葉です。次に使う人たちが気持ちよく使えるように、きれいな状態を保つための言葉です。と同時に、みんなの施設をていねいに使い、きれいに片付けるといった基本的なマナーを呼びかけるものでもあります。

学校では、遠足や社会科見学などに出掛けた場合、現地出発前の10分間ぐらいは掃除の時間にします。まさしく、「来たときよりも美しく」を実践させるための指導です。おそらく日本全国で行われている取組だと思いますが、その行為が身につけている証なのでしょうか。

裏面の記事をお読みください。

以前の大会でも同じようなことが報道されたことがありました。さらに、今回のベルギー戦（日本代表が敗退した試合）の後にも、こんなことが報じられました。「日本のサッカーファンは、（敗戦に）涙を流しながら掃除をしていた。リスペクトすべきサポーターだ」「選手のロッカールームがスタッフによってきれいに片付けられていた」など、世界のメディアから賞賛されました。

国内ではどうなのでしょう。一部報道によりますと、東京都渋谷では、若者によるハイタッチで交通渋滞が起きたり、ごみが散乱したりという状況があったようです。しかし、そのような迷惑行為をする人たちの傍らで、現地サポーターと同じように持参したゴミ袋にごみを拾って集めるサッカーファンもいたようです。

自分が出したごみを誰かに拾ってもらうことは、非常に恥ずべきことです。身近なところから「ポイ捨て」をなくしましょう。もうすぐ夏休みです。行楽地でのマナーや自分たちの校区をきれいにする気持ちを大切にしながら、自分の心を美しく保ちたいものです。

日に日に数字が大きくなっていく西日本豪雨災害の死者数。せめて行方不明者の一日も早い発見を祈りたいものです。今回の豪雨は、気象庁から大雨特別警報が出されるなど、想定はされていたものの自然の猛威は、またも人間の想像を超えてしまいました。先週の土曜日は、私自身も妻と車を走らせながら「8・6水害を思い出すね」と話をしていました。被害に遭われた犠牲者の方々のご冥福をお祈りします。

私たちが住む地域もどんな災害に遭遇するか分かりません。「まさか・・・」ではなく「もしかしたら・・・」という意識で、早めの対処や避難を心がけましょう。もうすぐ夏休みです。台風や雷、大雨などの日もあると思います。子どもたちの安全については、家族で具体的な話をしておいてほしいと思います。よろしくお願いします。

ある日のできごとから



つばめ学級、ひまわり学級、たけのこ学級の子どもたちが準備・運営した「夏祭り」が行われました。会場となったひまわり教室には、「いらっしやいませ いらっしやいませ」の大きな声が響き、たくさんのお客さんが次々と訪れていました。会場内には5つのブース（「かきごおり」「たこやき」の食べ物コーナーと「いきものすくい」「まとあて」「くじ」のゲームコーナー）があり、それぞれ担当する子どもたちとその保護者の方々が、笑顔でお客さんを迎えていました。会場入口には、子どもたち手作りのチケットが置いてあり、誰でも無料で楽しむことができました。

それぞれの個性に合わせた学級に在籍し、同学年の子どもたちとも交流しながら成長する子どもたちの目は、キラキラと輝いていました。

くじのゲームで当てた「カップ人形」をお土産にして校長室に帰りましたが、その人形の表情を見ていると、8人の子どもたちの優しさが伝わってくるようでした。

（文責；鹿児島市立宮川小学校長 松永幸二）